



埼玉県支部

関東甲信越ブロック埼玉県支部の活動報告

日本プライマリ・ケア連合学会 埼玉県支部長
医療法人明医研ハーモニークリニック 中井秀一

埼玉県支部では例年 11 月に埼玉プライマリ・ケア連合研究会（兼総会）を開催してきました。2023 年度は 11 月 17 日（金曜日）にハイブリッド形式（配信会場：大宮ソニックシティ 603 会議室）で開催しました。メインテーマを“ポストコロナにおける地域包括ケア”とし、3つの教育講演と特別講演でプログラムを構成しました。

教育講演Ⅰは「日本在宅医療連合学会地域フォーラムにおける SPart メンバーによるワークショップ開催報告」というタイトルで奏診療所 今永光彦先生から埼玉県のプライマリ・ケア連合学会の横の連携を利用した学会活動について報告していただきました。教育講演Ⅱは「医療的ケア児の歯科」というタイトルで、埼玉県歯科医師会地域保健担当理事 出浦恵子先生から小児の医科歯科連携の実際についてご紹介いただきました。教育講演Ⅲは「『ポリファーマシー対策』～益々必要となる医療連携～」という演題で、調剤薬局の視点からのポリファーマシー対策を埼玉県薬剤師会理事 吉川陽子先生にレクチャーしていただきました。

そして特別講演は「地域包括ケアシステムの親展と新たな多職種連携」というタイトルで地域包括ケア研究の第一人者である埼玉県立大学理事長 田中滋先生からこの分野の最新知見を発表していただきました。

盛況のうちに会は終了しました。

また、プライマリケア連合学会埼玉支部の SPart による勉強会も 2023 年 3 月に埼玉医科大学にてハイブリッドで、「インストラクショナルデザイン」をメインテーマに行われました。

2023 年 9 月には、日本在宅医療連合学会の地域フォーラムが大宮ソニックシティで開かれ、SPart で在宅医療・介護の家族問題へのアプローチ～「家族志向のケア」を多職種で学ぼう～と題してワークショップを開催しました。交流企画のゆるトークや、毎月 SPart 若手会では定期的な勉強会も開催されており、引き続き無理なく、活発な活動が継続できますように、支部として支援、努力していきたいと思えます。

埼玉支部は、2023 年 11 月 17 日の総会で、支部長交代、事務局長交代など、新体制に移行することが了承されました。新体制の中、さらに会員の要望に応える埼玉プライマリ・ケア連合研究会としての活動を目指します。ご支援よろしくお願いいたします。